

# 『Live! 横浜 2024』 TICAD ブースワークショップ

## 参加報告書

開催日時 11月9日(土) ▶ 11月10日(日)

開催時間 10:00~16:00

会場 横浜 (MARKS IS みなとみらい)

### 「Live! 横浜 2024」とは？

横浜市（横浜アーツフェスティバル実行委員会）が運営する、みなとみらい21地区を中心とした都心臨海部を会場として、音楽を中心としたライブエンターテインメントです。今回は、来年8月の第9回アフリカ開発会議（TICAD）に向け、イベント会場に横浜市が TICAD ブースを設置し、市民のみなさんにアフリカの文化に親しんでいただこうと企画されました。アフリカ理解プロジェクトには、そのブース内でアフリカ体験ワークショップを2日間にわたり企画してほしいと依頼があり、実施しました。

【公式 WEB サイト】 <https://liveyokohama.jp/>



### ワークショップの様子



11月9日(土)の文化体験は、「東アフリカの民族布を着てみよう」というワークショップを行いました。1枚の布が、衣服にも負い布にも変身! アフリカの知恵を体験します。



11月10日(日)は、アフリカ国旗でビーズアクセサリー作り。アフリカにはたくさんの国があること、国旗の成り立ちなど、ストラップやハングルを作りながら楽しく学びます。



カラフルな民族布を飾ったブースで。始まりま〜す!



自分の好きな布を選んで着付け。民族布カンガは小学校の教科書でも紹介され、カンガを知っている子どもたちもいました!



アフリカと横浜のつながりを知るパネル



# 『Live! 横浜 2024』 TICAD ブースワークショップ

## 参加報告書



アフリカに関心を持っていただこうと、主催者のスタッフが手づくりしたグッズ（ミサンガ）を無料配布されました。



雨予想でしたが、晴れました。会場の横浜美術館前には大勢の家族連れがイベントを楽しんでいました。



2日目のアフリカ国旗ビーズワーク。この日は有料（材料費）でしたが、お子さん連れの家族など、朝から夕方まで参加者が途切れることはありませんでした。



ビーズワークの合間には、スタッフがアフリカ開発会議やアフリカの話をはさみ、子どもたちもおとなもアフリカについて考える時間が持てました。



バンダ、ストラップ、ネックレスの3点の中から好きなものを3つ選んで。最年少は3歳でしたが、飽きずにとっても上手に作りました。子どもたちは集中力がすごい！



アフリカ国旗の一覧をみながら、好きな国旗を選びます。

### 待望の新刊ができました！好評販売中

第1章は、モノづくりの話です。



アフリカ各国は、いま観光産業に力を入れており、政府も伝統的な工芸品や土産物産業の育成に積極的です。人の手でつくる手工芸品は、設備投資に資金がかからないうえ、多くの雇用を生み出します。私たちは今から13年前、アフリカの小さな生産者グループとモノづくりをはじめました。そのなかで「モノづくりは人づくり」でもあることなど、多くの知見を得ました。新型コロナウイルス感染症パンデミックでは、観光客を失い収入が激減したアーティストやアーティストとオンラインを活用し、世界中どここの国や地域からでもできる生産者支援をはじめました。第1章では、アフリカで

の「モノづくり」や「ボーダレス時代の新たな支援の方法」の経験と学びを共有しています。

第2章は、アフリカの楽しみ方の話です。

日本で取り上げられるアフリカの情報は限定的で、アフリカの自然や、文化、食生活など、普通の人の暮らしを伝える情報はとても少ないのが現状です。多様なアフリカを知って欲しい、見つけて欲しい、そう願い話題を集めました。また、この章には私たちの講座で人気の高かった「体験」もたくさん掲載しています。いろいろな体験を通して、アフリカを身近に感じてもらえれば嬉しいです。



## 『Live ! 横浜 2024』 TICAD ブースワークショップ

### 参加報告書

最後にこの本は、アーティストと構想を練り、アーティストが描き下ろした原画をふんだんに使った参加型の本です。そのため本の構想から、5年の時が過ぎました。アフリカには“ゆっくりゆっくりバナナは熟れる”ということわざがあります。本書が おいしく熟したバナナとなり、これからアフリカに旅立つ人たちの糧となれば幸いです。



#### タンザニアのアーティストたちと本づくり

コロナ禍で激減した観光客。収入を失ったタンザニアのアーティストたちとモノづくり・本づくりをしたプロジェクトを、今年『アフリカのアーティスト&アーティザンと私たちがモノづくりした話』としてまとめ、出版しました。ティンガティンガアーティストたちの夢は、“作品でみんなをハッピーにすること！”